

平成30年度 学校経営・運営ビジョン

福島県立福島高等学校

教育目標

世界のなかの日本人として高い理想を掲げ、豊かな徳性を備え、広く深い知性と健やかな心身をもつ有為な人材を育成する。

- (1) 個性を重んじ他を敬う広い心を養い、互いを認め共に生きる社会の進展に貢献する豊かな心を育てる。
- (2) 自律創造の精神と主体的学習の伝統を基本とし、理想を求めて健やかな生活を創造する豊かな知性を育てる。
- (3) 自然と生命の存在を尊ぶ深い心を養い、たくましい意志と実践力を備えた健やかな身体を育てる。

めざす生徒像

- (1) 主体的自律的に行動する生徒
- (2) 高い志をもって自己を高める生徒
- (3) 進んで心身を鍛える生徒

明治31年創立梅章のおしえ

「清らかであれ、勉勵せよ、世のためたれ」

教育方針

本校は、名実ともに本県を代表する高等学校として、豊かな人間性と幅広い教養を持ち、次世代を担い国際社会に貢献する生徒を育成する。

そのため、授業、学校行事、部活動のさらなる充実を図る。

校長 竹田 真二

今年度の重点目標

授業の質を高め自学自習を徹底し、生徒の夢の実現を支える

たくましい精神と責任感を養い、部活動・学校行事に主体的に取り組ませる

自主自律の精神の下、薫りのいみじき自由闊達な校風を高揚する

重点実践事項

- 1 授業研究に励み、質の高い授業を実践する。
- 2 自ら学びに向かう学びの姿勢を確立させる。
- 3 キャリア教育の実践により、主体的に考え行動できる生徒を育成する。
- 4 適切な情報の提供による進路意識の高揚を図る。

重点実践事項

- 1 基本的な生活習慣を確立させるとともに、校内の美化を徹底し学習環境を整える。
- 2 生徒一人一人の把握に努め、心身の健康を支援する。
- 3 部活動・学校行事への積極的な取組を促し、文武両道を実践する。
- 4 生徒の主体的な課題研究活動を支援し、グローバル社会に対応できる生徒を育成する。

重点実践事項

- 1 伝統の重みを感じつつ、おおらかな校風を大切にする。
- 2 人間、社会、自然の様々な事象に興味・関心を持たせ、科学的に探究する態度を育てる。
- 3 生徒の学びを幅広く支え、知的な好奇心を高める。
- 4 高い理想のもと、豊かな徳性と深い知性を身につけさせる。

各部・学年重点実践事項

平成30年度 部・学年重点実践事項

| 重点 目標 部 ・学年 | 重点目標① 授業の質を高め自学自習を徹底し、生徒の夢の実現を支える | 重点目標② たくましい精神と責任感を養い、部活動・学校行事に主体的に取り組ませる | 重点目標③ 自主自律の精神の元、薫りのいみじき自由闊達な校風を高揚する |
|----------------------|--|--|---|
| 教務部 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業研究を促し、質の高い授業を実践する。 ○自学自習を徹底し、自ら学びに向かう生徒を育成する。 ○家庭学習に3時間以上取り組む習慣を確立させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○部活動終了時刻・下校時間を守り、文武両道を実践する。 ○様々な学校行事に積極的、かつ主体的に取り組ませる。 ○本校ホームページを通じて、各種行事の様子を速やかに発信する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○総合学習を通して、主体的かつ多角的に学習に取り組む姿勢を養う。 ○特別活動と各教科・科目との連携を図り、個々の生徒の学習効果を高める。 |
| 生徒指導部 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣を確立させる。 ○生徒との個別面談を通して、学校生活の質の向上を図る。 ○生徒の自己管理能力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○部活動参加を積極的に促す。 ○学校行事を通して、生徒各人の自己効力感を高めさせる。 ○東北大会、全国大会への出場を目指す。 ○部活動終了時刻を厳守させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒主体の生徒会諸行事を充実させる。 ○委員会活動への積極的な参加を促す。 ○生徒主体の生徒会活動を充実させる。 |
| 進路指導部 | <ul style="list-style-type: none"> ○「自分が将来、どう社会と関わっていくのか」を誠実に求め続けることのできるキャリア探求力を育てながら、大学や学部・学科など、卒業後の進路を主体的に選択させる。 ○授業の質を高めるとともに、主体的に学ぶ姿勢を育てることで進路目標を実現するための学力を保证する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○大学見学会や進路講演会、進路研究セミナーなど、さまざまな進路指導に関わる行事への意欲的・積極的な参加を促すことによって、生徒の進路目標の実現に資する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「自主自律」「自学自習」の精神の確立を図り、おおらかな校風のもと、リベラル・ゼミなどへの参加を通じて、物事を多角的に捉え、自ら課題を設定し、解決しようとする生徒を育成する。 |
| 図書情報部 | <ul style="list-style-type: none"> ○部、学年、教科と連携し、生徒の学びを幅広く支え、知的好奇心を高めるような図書館運営に努める。 ○視聴覚教育充実のため、ソフトの購入、機器の点検整備に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ○図書館利用を通し、公共心の涵養をはかる。 ○図書部員を対象とした適切な研修を行い、図書館運営に対する意識を高めさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の読書の質と量を向上させるよう努める。不読率（H29 48%）の引き下げに努める。 ○本校ホームページからの、図書検索システムの利用を推進する。 |
| 厚生部 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習環境の整備を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・日常清掃の徹底と美化委員会活動をさらに活発化する。 ・定期的に清掃状況の確認、安全点検を実施する。 ・定期的に環境衛生検査を実施する。 ○生徒の心身の健康を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・日常の保健指導、健康相談の充実を図る。 ・生徒一人ひとりの自己実現を目指し、生徒理解を深めるために担任との情報交換を密に実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○食に関する意識喚起をする。 ○緊急時に備え、身の回りの整理整頓に努める。 ○クリーン活動を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○主体的に自己健康管理ができるよう支援する。 ○保健委員会活動を活発化し、健康教育の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康体調管理に関する自主的な調査・研究を支援する。 |
| SSH部 | <ul style="list-style-type: none"> ○1,2年生では、学校設定科目「ベーシック探究」を有効に活用し、課題研究に必要な技法を習得させ、自ら課した研究テーマの調査研究を実践することで課題解決力の育成に努める。また、1,2年生での「ディベート」や3年生の「英語表現力」「応用実験講座」を通して表現力や論理的思考力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○課題研究活動をはじめとする生徒の主体的な活動をサポートし、その成果を全国規模の発表会やコンテストで発表する。 ○英語を活用した取組を積極的に導入し、グローバル社会に生きる人材素養の育成を図る。 ○生徒全員を対象とした生徒研究発表会を主体的に取り組ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○進路指導部と連携し、キャリア教育の一環としてSSH事業を位置づけていく。生徒自身が将来の進路や興味関心を意識し、積極的に参加できるように支援する。 |

| | | | |
|-------------|---|--|---|
| <p>第1学年</p> | <p>○生徒の主体的な学びを促しながら知識・技能の定着と「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。 ○授業を中心とした学習習慣、予習、復習の習慣を身につけさせる。 ○文理選択を通し将来を展望し、自分が学びたい学部・学科やより高い志望大学を主体的に選択できるようにする。 ○保護者との連携を密にし生徒の自立心を養う。</p> | <p>○学校行事、部活動、委員会活動に積極的に取り組めることで、最後までやり抜く強い意志やリーダーシップを育成する。 ○集団での活動を通じてコミュニケーション能力を高め、主体性・協働性・多様性を育成する。 ○学業との両立を図りながら、自らの目標を実現していこうとする姿勢を育てる。 ○SSHをはじめとする探究型の学習を通して、課題発見力・課題解決力の習得を図る。</p> | <p>○梅章の教えのもと主体的に考え、行動し解決することを通して、生徒が人間的に成長できるよう支援する。 ○主体性を重んじるとともに、基本的な生活習慣を基盤とした自律的な人間性を育成する。 ○生徒の知的な好奇心を高め、未知なるものに挑む姿勢を育成する。 ○他者と磨きあい先輩から謙虚に学ぶ姿勢を育成する。</p> |
| <p>第2学年</p> | <p>○教材研究に努め、授業内容・指導技術の向上を図る。 ○学習習慣と自学自習の姿勢を定着させ、効率的な学習方法を身に付けさせる。 ○授業・課外に積極的に臨ませ、主体的な学習の姿勢を身に付けさせる。 ○学年PTAや面談等を通して保護者との連携を密にし、情報の共有化を図る。</p> | <p>○学校行事や部活動の意義を理解させ、主体的・積極的に取り組ませる。 ○集団活動を通じてコミュニケーション能力を高め、他者との協調性を育てる。 ○文武両道を目指し、部活動等において全国大会・東北大会出場を目指して努力させる。 ○課題研究活動を通して、課題発見力・課題解決力・表現力の育成を図る。</p> | <p>○物事を主体的に捉え、行動し、解決させることで、生徒が成長できるように支援する。 ○SSH活動に積極的に取り組み、主体的・対話的な活動を通して生徒の能力・資質の向上を目指す。 ○自らの行動に責任感を持たせ、規律ある学校生活が送れるように指導する。 ○他者を思いやり、尊重する気風を育てる。</p> |
| <p>第3学年</p> | <p>○教材研究に励み、生徒の実態を踏まえて各層に刺激を与える授業を展開する。 ○個々の生徒が自学自習の習慣を確立し、進路目標を実現できるよう支援する。 ○キャリア教育の実践により自らの適性を認識させ、志望学部、学科が決定できるよう支援する。 ○面談、学年PTA、メール配信等を通して情報を共有することにより保護者との連携を密にする。</p> | <p>○基本的な生活習慣を確立させるとともに校内の美化に努める。 ○養護教諭、生徒指導部と連携し、学校生活全般を通じて生徒の把握に努め心身の健康を支援する。 ○学校行事、部活動、委員会活動に、最上級生として責任と自覚を持って取り組ませる。 ○研修旅行の経験を活かし、様々な課題に対して自分たちで考え、解決しようと努力し、何事に対しても粘り強く取り組む精神力を育成する。</p> | <p>○120周年記念式典、応援歌講習等の学校独自の行事を通じて学校の校風、伝統について考えさせる。 ○SSH事業に積極的に取り組むことで、幅広い教養の醸成を目指し、科学的に探求する姿勢を育てる。 ○リベラルゼミ・メンタープログラム等を通して知的な好奇心を高めさせる。 ○SSH総合の進路講演会を通して、深い知性を身につけさせる。</p> |